
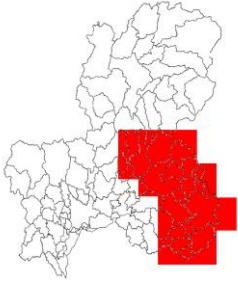


ハクウンラン	<i>Kuhlhasseltia nakaiana</i> (F. Maek.) Ormerod	絶滅危惧 I 類
		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。小さな植物なので環境の変化で減少しやすい。	<b>写真(清水英彦)</b> 
形態の特徴	高さは5-15cm。茎の下部が地上を這う。卵円形の小型の葉を茎の下部に互生する。白い花が数個つく。側萼片の基部が2つの袋状になる。長く垂れた唇弁は広く2裂して浅い。全体に軟毛がある。	
生態的特徴	山地の樹林下に見られる。	
分布状況	本州から九州に分布する。岐阜県では美濃地方中東部に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。雨などで流されることがある。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		<small>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</small>

文責:山崎玲子